

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22 年 12 月 28 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471503171		
法人名	陽気株式会社		
事業所名	グループホームいぶき（一階）		
所在地	広島県福山市駅家町法成寺2808-1 (電話) 084-949-3230		
自己評価作成日	平成22年12月28日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先UR	http://www.hksiks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3471503171&SCD=320
------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成23年1月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>ご利用者が安心して過ごしていただけるよう、認知症の専門的な知識を深めること。また個別面談や勉強会をすることで統一した職員教育に力を入れている</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は池や桜並木を見下ろせる静かで恵まれた自然環境の中にあり、明るくチームワークの良い職員や隣接する託児所の子供たちとの日常的交流などアットホームな雰囲気がある。全職員による理念の見直し、話し合いによる目標設定、またアセスメント表の改良や職員教育における研修資料の充実からも伺えるように、利用者一人ひとりが望む暮らしを支えることに努めていて、本人の思いを尊重したケアやサービスに真摯に取り組む状況は、利用者や家族の安心と信頼を得ている。</p>
--

一階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	全職員が会社全体の目標を踏まえた上で行っていききたい介護像について話し合い、地域の中でより良く暮らせるよう独自の理念を作成している。	各ユニットはそれぞれが、職員全員で話し合い、2年ごとに理念の見直しを行っている。さらに毎年それを基に目標を掲げ取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日々の挨拶はもちろん、ご近所の方々が野菜を持って来て下さったり、事業所の花壇と一緒に手入れして下さったりと以前より交流が多くなってきている。	近所の方が畑で取れた野菜を持ってきてくれたり、花の鉢や、部屋の壁飾りを提供されたりの交流がある。またホームで開催する夏祭りへの参加を地域の方にも回覧板で案内するなど交流に努めているが、参加を得るまでには至っていない。	今後、更に夏祭りに地域の人が気軽に参加できるように工夫し、交流をより一層深め、利用者の生活の幅を広げていく機会となることに期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	直接地域の高齢者の暮らしに役に立っているとはいえない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で話し合った内容は、全職員で共有し改善、向上に活かしている。	3ヶ月ごとに開かれる運営推進会議は、家族、民生委員、地域包括支援センター職員が参加して、事業所の運営計画、研修計画及び取り組み状況の報告をしている。年1回は、外部講師による研修会などを組み入れている。参加家族の思いや要望などを聞くと共に自由な意見交換会を行い、それらを全職員で共有し、サービスの向上に活かしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の開催する介護保険事業所説明会などに積極的に参加し、サービスの向上に努めている。半年間、介護相談員の方に来て頂いている。	市の担当課とは情報交換や相談等で連絡を取り合っている。また市開催の説明会への積極的参加や介護相談員の受け入れなども行っている。	

一階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束についての勉強会を定期的に行い、理解・認識し、ケアにつなげている。玄関の施錠は夜間のみ行っており、日中は開放している。</p>	<p>毎年1回は身体拘束に関する勉強会を実施し、職員の理解と認識の共有化を図っている。一人ひとりの行動を制限しない取り組みをしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>勉強会で学ぶ機会をもうけ、各職員に意識づけている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>事業所の勉強会などで学ぶ機会をもうけている。未だ必要性はないが、今後活用していきたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>細かく説明を行い、疑問があればその都度お聞きし、理解・納得していただけるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置すると共に、面会時・運営推進会議などでご意見をいただき、次に活かしている。</p>	<p>運営推進会議や家族会への参加時には、積極的に家族の意見や要望を聞くようにしている。また毎月の利用料支払い訪問時には、利用者の近況報告と共に家族からの要望を聞くようにしている。意見や要望は職員間で話し合い、サービスの向上につなげている。</p>	

一階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員面談の際や、カンファレンス、職員との日々の関わりの中で、意見を聞く機会をもうけている。</p>	<p>職員間はチームワークも良く、何でも話せる雰囲気作りができています。日常的にも、また月2回開催のカンファレンスでも、積極的に意見交換を行っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の勤務状況や胸の内を把握する為、定期的面談や必要に応じて話し合いを行う場をもうけ、改善しながら働きやすい環境づくりに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>事業所全体で現任研修を行ったり、外部の研修に気軽に参加できるようにし、常に向上していけるよう努めている。面談時に個々に目標を立てていただき、それに向かって学び、向上できるよう努めている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の研修への参加、実習などで知り合った、地域の同業者との交流を深め、横のつながりを大切にしている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご利用者に心から安心していただけるよう、ご本人の思いをくみ取ると共に、馴染みの関係を築けるよう努めている。</p>		

一階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご利用者と共に、ご家族に心から信頼していただけるよう、気軽に何でも言える雰囲気作りを心掛けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ケアマネージャーと連携を図り、その時必要なケアサービスを見極めていけるよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用者を人生の先輩として尊敬し、介護する側、される側に分かれず、一緒に毎日生活する中で楽しみ・悲しみなどを共に感じあい、支えあえる関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族の悩み、思い不安等も受け入れ、一緒にご本人を支えあえる関係づくりに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>個々の馴染みの方、馴染みのある場所等を職員全員で把握し、関係が途切れないよう支援している。</p>	<p>入居に伴い、馴染みの人や場所との関係の継続は難しくなってしまうが、利用者の元住んでいた場所へ行って見るなどの、関係継続の支援に努めている。</p>	

一階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合うご利用者との関係を大事にし、生活の様々な場面で共に過ごしたり、ご利用者同士がうまく関わり合えない場合は、職員が間に入り孤立せずお互いが支えあえる関係作りに努めている。一階と二階でフロアは別でも気の合う方は一緒に過ごす時間をもうけている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	本年度はそのようなケースがありませんでした。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の思いや暮らし方の希望などをご家族やご本人から聞き取り把握して、本人本位に努めている。	本人や家族が良かったという思いを増やせられるように、望まれることは出来るだけかなえてあげられるように、意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントの段階で確認を行い、その後もご家族・ご本人よりお聞きし、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の状態を総合的にみて現状を把握している。		

一階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人・ご家族からお聞きし、必要に応じて介護計画を立てている。</p>	<p>昨年9月職員の意見や要望を聞いてアセスメント表を改良した。それにより一層本人の思いや身体面、認知症を考慮したものとなり、深く掘り下げたアセスメントとなった。それを基にカンファレンスで話し合い、本人や家族の意見も取り入れた介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>細かく記録に残している。全職員が内容を把握しており、実際のケアや介護計画の見直しにも活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人やご家族のニーズを把握、理解し、全職員で前向きに検討し、支援、サービスを行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>趣味や様々な活動に応じていけるよう、地域の行事などに参加させていただいたり、ボランティアに来ていただいたりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医および希望される医療機関など、個々にとって適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	<p>協力医療機関の医師を主治医とする利用者がほとんどであるが、本人、家族の希望のかかりつけ医においても、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	

一階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	施設内の看護師は日々観察を行っており、かかりつけ医療機関の看護師とも日々連携をとって支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された場合は度々面会に行き、状態の把握、情報収集を行ったり、ご家族とも連絡を取り合い、早期退院に繋がるよう努めている。また退院前のカンファに参加している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	できるだけ早い段階から主治医、ご家族と連携を密にし、全員で取り組んでいくようにしている。	ターミナルケアの経験も多くあり、それらを踏まえて、職員間で勉強会などの研修を行い情報の共有を図っている。主治医や家族との十分な話し合いのもと、方針の共有化を図り、看護職員のアドバイスを受け全員で支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	一年に一度は訓練を行っている。そのほかに勉強会で学んだり、個々で講習会に参加するように促したり、本を読んだりとそれぞれ知識の向上に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練で訓練を行ったり、地域の方々へのご協力もいただけるようお願いしている。	避難訓練は年2回参加できる利用者も一緒に実施しているが、夜間を想定しての避難訓練は出来ていない。	運営推進会議で町内会長に協力依頼を行い、近所の方の電話番号による連絡網を作るなどの、地域との協力体制を築くことを期待します。

一階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	全職員で言葉かけや対応に注意している。また疑問を感じたら個別で、あるいは全体に伝え解決している。	利用者は人生の先輩だとの思いで尊敬のもと、プライバシーや尊厳を大事にしながらの支援を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員主体にならないよう十分に気を配っている。伝わりにくい方には選択できる声かけに変えたりと、出来るだけご本人に選択、納得していただき日々暮らせるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務、都合を優先せず、一人ひとりのペースを大切に、希望に沿った生活を送っていただけるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	髪型、服装など、ご本人に選択していただけるよう努めている。難しい方は二つの中から選択していただいたりと個々に合わせて支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューも一緒に決めたり、買い物の段階から好みに合わせて対応したりと、すべて一緒に考え行っている。経管栄養で口からの摂取が難しい方には、食事風景が見えないよう配慮している。	食事は利用者の食べたい物を聞くことから始まり、買い物の同行、食材の準備など全て一緒に行っている。訪問日にも男性の利用者がじゃがいもを切っている姿や、子供からもらった焼き芋を、美味しそうに食べている様子が見受けられた。時には寿司を食べに行きたいなど、希望により車で外出に行くこともある。	時には、献立の振り返りをして、利用者の食べたい物を取り入れながら、偏りが無く、バランスに配慮したメニューになっているか確認していくことが望まれます。

一階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日記録に残し、平均量の把握も出来ている。個々に応じた対応に努めている。夜間の水分摂取も心掛けている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>個々に合わせた方法で口腔ケアを日々行っているが，毎食後は出来ていない。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々に合わせ対応している。オムツ使用は出来るだけ避け、排泄パターンを把握し、気持ちよく排泄していただけるよう努めている。</p>	<p>排泄パターンを把握して、それぞれの利用者に合わせたトイレ誘導を行っている。夜間も誘導するなどトイレでの排泄支援に努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>すぐに薬に頼ることは避け、お腹をマッサージしたり、食物繊維の含まれる食品を多く献立に入れたり、水分摂取の配慮などに努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>希望のある方は極力希望通りに対応している。訴えない方も曜日や時間など、職員の都合でなくご本人の体調や思いを大切にしている。</p>	<p>出来るだけ利用者の希望に沿えるように支援している。訴えない利用者にも週2回は入浴してもらえるように、日や時間や職員を変えて、何度も声かけをするなどの入浴支援に努めている。</p>	

一階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>入眠時間は決めておらず、個々の生活習慣に合わせ対応している。また個々に応じてお昼寝などをしていただいている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬についての参考資料を置いたり、処方箋などでの把握に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>ご本人の生活履歴を把握し、ご本人の思いを聞き取りながら、日々の生活の中で役割をもっていただき、少しの時間でも楽しみごとや気晴らしの支援が出来るよう努めている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日や希望のある日には、希望の場所に出掛けるよう対応している。買い物も必ずご利用者とともにしている。地域の人々に対し、協力のお願いはできていない。</p>	<p>食材の買い物には声かけをして、利用者と共にしている。子供たちとの散歩や、遊び場となっている近くの山へのお出かけなど日常的に行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>普段はお預かりしていますが、必要に応じて所持していただき、一緒に買い物に行ったりしている。</p>		

一階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	手紙のやりとりはできていない。電話をしたい時にはできるように支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節のものを飾ったりして、四季を感じていただけるよう努めている。暖房器具の調節、カーテンの調整などに配慮している。常にご利用者の立場で考えていくよう努めている。	隣接する託児所の子供たちとの交流の場にもなる居間は、広く明るく、壁には利用者の書などが飾られてあり、利用者は思い思いにソファや椅子でくつろがれるなど居心地の良さが伺える。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	いろいろな場所に椅子を置き、一人になりたい時、何人かで話したい時など、思い思いに過ごせる工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	在宅時とあまり環境が変わらないよう、極力馴染みのものを持って来ていただいている。	居室は明るく整理整頓されており、利用者それぞれが自分に合ったタンスや生活用品などを持ち込んでいて、その人らしく暮らせる居心地の良さが伺える。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	出来ることはしていただき、出来ないところだけサポートしている。常に感謝の言葉を伝え、自身を取り戻していただくようにしている。トイレなどの場所がわかるよう表示している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

二階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	全職員が会社全体の目標を踏まえた上で行っていきたい介護像について話し合い、地域の中でより良く暮らせるよう独自の理念を作成している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日々の挨拶はもちろん、ご近所の方々が野菜を持って来てくださったり、事業所の花壇を一緒に手入れしてくださったりと以前より交流が多くなってきている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	直接地域の高齢者の暮らしに役に立っているとはいえない		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で話し合った内容は、全職員で共有し改善、向上に活かしている		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市の開催する介護保険事業所説明会などに積極的に参加し、サービスの向上に努めている。半年間、介護相談員の方に来ていただいている		

二階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束についての勉強会を定期的に行い、理解・認識しケアにつなげている。玄関の施錠は夜間のみ行っており、日中は開放している</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>勉強会で学ぶ機会をもうけ、各職員に意識づけている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>事業所の勉強会などで学ぶ機会をもうけている。未だ必要性はないが、今後活用していきたい</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>細かく説明を行い、疑問があればその都度お聞きし、理解・納得していただけるよう努めている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置すると共に、面会時・運営推進会議などご意見をいただき、次に活かしている</p>		

二階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	職員面談の際や、カンファレンス、職員との関わりの中で意見を聞く機会をもうけている		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	職員の勤務状況や胸の内を把握する為、定期的面談や必要に応じて話し合いを行う場をもうけ、改善しながら働きやすい環境作りに努めている		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	事業所全体で現任研修を行ったり、外部の研修に気軽に参加できるようにし、常に向上していけるよう努めている。また面談時、個々に目標を立ててもらいそれに向かって学び、向上していけるようにしている		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	地域の研修への参加、実習などで知り合った、地域の同業者との交流を深め、横のつながりを大切にしている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	ご利用者に安心していただけるように、ご本人の思いを汲み取ると共に、馴染みの関係を築けるよう努めている		

二階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご利用者とともに、ご家族に心から信頼していただけるよう、気軽に何でも言える雰囲気作りを心掛けている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ケアマネージャーと連携を図り、その時必要なケアサービスを見極めていけるよう努めている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用者を人生の先輩として尊敬し、介護する側、される側に分かれず、一緒に毎日生活する中で楽しみ・悲しみなどを共に感じあい、支え合える関係を築いている</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族の悩み、思い、不安等も受け入れ、一緒にご本人を支えあえる関係作りに努めている</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>個々の馴染みの方、馴染みのある場所等を職員全員で把握し、関係が途切れないよう支援している</p>		

二階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合うご利用者との関係を大事にし、生活の様々な場面で共に過ごしたり、ご利用者同士がうまく関わり合えない場合は職員が間に入り孤立せずお互いが支えあえる関係作りに努めている。1階と2階でフロアは別でも気の合う方は一緒に過ごせる時間をもうけている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了されたご家族が職員やご利用者に話しにこられたりという関係が続いている		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の思いや暮らし方の希望などをご家族やご本人から聞き取り、把握して、本人本位に努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントの段階で確認を行い、その後もご家族・ご本人よりお聞きし、把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の状態を総合的にみて現状を把握している		

二階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	ご本人・ご家族からお聞きし、全員で共有後、随時介護計画を立てている		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	細かく記録に残している。全職員が内容を把握しており、実際のケアや介護計画の見直しにも活かしている		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	随時ご本人やご家族のニーズを把握、理解し、全職員で前向きに検討し、支援、サービスを行っている		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	趣味や様々な活動に応じていけるよう地域の行事などに参加させていただいたり、ボランティアに来ていただいたりしている		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	主治医及び希望される医療機関など、個々にとって適切な医療を受けられるよう支援している		

二階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	施設内の看護師は日々観察を行っており、係りつけの医療機関の看護師とも日々連携をとって支援している		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院された場合は度々面会に行き、状態の把握、情報収集を行ったりご家族とも連絡を取り合い、早期退院に繋がるよう努めている。また退院前のカンファレンスにも参加している		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	できるだけ早い段階から主治医、ご家族と連携を密にし、全員で取り組んでいくようにしている		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	一年に一度は訓練を行っている。そのほかに勉強会で学んだり、個々で講習会に参加するように促したり、本で読んだりとそれぞれ知識の向上に努めている		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	避難訓練で行ったり、地域の方々への協力もいただけるようお願いしている		

二階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	全職員で言葉かけや対応に注意している。また疑問を感じたら個別で、あるいは全体に伝え解決している。そのほか、事業所全体の研修で勉強し対応の統一を行っている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員主体にならないよう十分に気を配っている。伝わりにくい方には選択できるような声かけに変えたりと出来るだけご本人に選択、納得していただき日々暮らせるよう支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務、職員の都合を優先せず、一人ひとりのペースを大切に、希望に沿った生活を送っていただけるよう支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	髪型、服装などご本人に選択していただけるよう努めている。難しい方には二つの中から選択していただいたり、個々にあわせて支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューも一緒に決めたり、買い物の段階から好みに合わせて対応したりとすべて一緒に考え行っている。		

二階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日記録に残し、個々の平均値の把握も出来ている。個々に応じた形で対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>個々にあわせた方法で口腔ケアを日々行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々にあわせ対応している。オムツの使用は出来るだけ避け、排泄パターンを把握し気持ちよく排泄していただけるよう努めている</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>すぐに薬に頼ることは避け、お腹をマッサージしたり食物繊維の含まれる食品を多く献立に入れたり、また水分摂取の配慮などに努めている</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>希望のある方は極力希望通りに対応している。訴えのない方も曜日や時間など職員の都合だけでなくご本人の思いや体調を大切にしている</p>		

二階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	入眠時間は特に決めておらず、個々の生活習慣に合わせて対応している。また個々に応じて日中の休息の時間ももうけている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬については参考資料を置いたり、処方箋などで把握し全職員で共有している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	今までの生活歴をご家族、ご利用者から伺い、それを活かした楽しみごとや役割を持っていただいている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	地域の方の協力をお願いしていないが、ご本人の希望がある日、または天気の良い日には出掛けている。遠方や個別になる場合はご家族と相談し協力を得て行っている。買い物はすべてご利用者と共に行っている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	普段はお預かりしているが、必要に応じて所持していただき一緒に買い物に行ったりしている		

二階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	現在手紙や電話のやりとりを希望される方はおられないが、そのようなご希望がある方がいらっしゃればもちろん対応していくよう努めます		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節のものを飾ったり四季を感じて頂けるよう努めている。冷暖房器具の調節、カーテンの調整などに配慮している。常にご利用者の立場で考えている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	いろいろな場所で過ごせるよう椅子を配置したり、選択できるよう声かけを行っている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	在宅時とあまり環境が変わらないよう極力馴染みのものを持ってきていただいている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	出来ることはしていただき、できないところだけサポートしている。少しの段差にも必要ならばこまめに声をかけたり、居室・トイレ等は場所がわかるよう表示している		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームいぶき

作成日 平成 23年 2月 1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	事業所内においては災害時のための避難訓練は定期的に行っているも地域との協力体制が十分でない	災害時の地域との連携を図るための体制作り	地域運営推進会議にて町内会長に協力をお願いし、連絡体制を築く	半年以内
2	2	事業所と地域とのつながりが十分でない	ホームで行うイベントへの地域の方の気軽な参加	事業所より地域イベントへの参加をより多くすることで交流を深め、また、気軽にイベントに参加して頂けるよう工夫する	半年以内
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。